

平成18年度病害虫発生予察注意報第3号

平成18年7月12日
鳥取県病害虫防除所

注意報の概要

シンクイムシ類の発生が平年より多く、果実への被害発生が懸念されます。今後、シンクイムシ類の重要な防除時期となるため防除の徹底が必要です。

病害虫名：シンクイムシ類（特にナシヒメシンクイ）

- 1 対象作物 ナシ
- 2 発生地域 県下全域
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発令の根拠
 - (1) ナシヒメシンクイの越冬世代成虫（第1回成虫）、第1世代成虫（第2回成虫）のフェロモントラップにおける誘殺数は平年に比べて多かった。今後、第2世代成虫（第3回成虫）の発生が多くなるものと予想され、前年並に多い発生量が見込まれる。
 - (2) 6月に第1世代幼虫による被害が一部で認められている。
 - (3) 気象予報によると向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されており、第2世代成虫の発生最盛期は、平年並の7月中下旬頃と予想される。
- 6 防除上注意すべき事項
 - (1) 受粉樹に残っている果実はシンクイムシ類の発生源となるので早急に除去する。また、シンクイムシ類の被害果が認められた場合は直ちに切除し果樹園外に持ち出す。
 - (2) シンクイムシ類の発生は夏期以降、世代が重なり明瞭なピークが認められにくいいため、今後、定期的な薬剤散布により発生密度を低減させる。防除薬剤は各地域の防除暦を参考にする。
 - (3) 発生が多い地域では、7月下旬にスミチオン乳剤1,500倍液にかえてアグロスリン水和剤2,000倍液などを散布する。また、本剤散布はカメムシ類に対する防除効果も高い。
 - (4) 防除にあたっては、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業等者の安全の確保に努める。

表1 フェロモントラップにおけるナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺数（頭）

月・旬	北栄町			湯梨浜町		
	本年	前年	平年*	本年	前年	平年**
4・計***	11	9	21.6	200	(参)87	121.0
5・計	3	3	1.3	41	13	20.3
6・計	11	7	2.8	85	112	43.5
7・上	14	7	1.7	19	56	15.3
・中		21	5.8		40	14.7
・下		44	11.0		87	24.6

注) 平年* : H12~17年、平年** : H8~17年

4月計***の湯梨浜町の前年は4月中旬が欠測のため参考値